

編集後記

初めて歯学部ニュースの編集を担当させていただきました。私が担当したのは、「特集・学生の活躍」、「早期体験実習を終えて」、「臨床研修修了にあたって」などで、学生さんや若いドクターへの原稿依頼や回収が中心でした。特に「学生の活躍」では、近年活躍が目覚ましいとされる体育会系の各部にスポットを当ててご紹介をさせていただいています。大変面白く興味深い内容となっていますので、今後もこのような特集で学生たちの生き生きとした表情を伝えることができることを期待しています。

今回、突然の原稿依頼にも関わらず執筆いただきました皆様には改めて御礼申し上げます。また、お忙しい中、快く原稿依頼を引き受けてくださり、卒業生への心からの祝福の言葉をいただきました前田学部長にも深謝いたします。慣れない編集委員の仕事を後方から支えてくださった広報委員会の大島勇人教授、今号の編集長として取りまとめをされました西山秀昌先生以下各編集委員の方々には本当に御世話になりました。

摂食・嚥下リハビリテーション学 井上 誠

仕事柄、日頃実験室にこもることが多く、卒業して14年、母校でありながら研究棟5階から出あらくことがありませんでした。今回、他科の先生や学生さん、同窓会のOBの先生にまで原稿をお願い、歯学部内をあっちこっち歩き回りました。すると、学生の時には知らなかった診療科や建物、その他いろんなものが目に入り、浦島太郎になったような不思議な気分を味わうとともに、“自分は、こうゆう大学で仕事をしていたんだ”と親しみと愛着を新たにしました。でも、浦島太郎は竜宮城で鯛やヒラメの舞い踊り、私は実験室でマウスやラットの……、うーん。

口腔解剖学 河野 芳朗

編集委員の皆さん、ご苦労様でした。特に編集責任者の西山先生、まとめ役ありがとうございました。また、お忙しい中、半ば強引に押しつけられながらも快く原稿依頼をお引き受けいただいた先生方や学生さんには感謝のきもちでいっぱいです。人のやさしさが身にしみました。

顎顔面口腔外科学 福田 純一

原稿をお願いに伺いました皆様は、大変お忙しい方ばかりでしたが、快く執筆をお引き受けくださいました。ありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。私も歯学部ニュースの愛読者の一人です。これからも、楽しく充実した歯学部ニュースが続いていくことを願っております。

小児歯科学 松山 順子

今回、編集委員長という大役を仰せつかったものの、編集後記(へんしゅうこうき)を「へんしゅうこうき」と読むものと思っていたほどで、どうなることやらと思って自ら危惧していたら、予感的中してしまいました。大島先生から、「1号2号の連携が重要」と指摘を受けていたにもかかわらず、新連載を2本もストップさせてしまいました。皆様には、この場を借りてお詫び申し上げます。大島先生に恐る恐るお聞きしたところ、「連載モノを毎号にするか隔号にするかは、編集委員会にて決めていただければいい」との暖かい言葉を頂戴し、次期編集委員会宛の仕事もきっちりと(?)残すことができました。(申し訳ございませんでした。)

以下、次期2号編集委員長への伝言です。1号が編集作業中に飛び交うメールには、タイトルと

前半の内容から判断して全く関係がなさそうなメールであっても、隅から隅まで目を通してください。特にメールのスクロールを怠らないようにしてください。スクロールすると、非常に重要な「キーワード」が隠されていることがあります。

最後に、本誌を無事発行することができたのも、編集委員の皆様、快く投稿してくださいました皆様、ご指導いただきました大島先生・小野先生、表紙を含め多くの写真を提供くださいました林先生、名簿関係の資料の問い合わせ先を教えてください、快く提出して下さった事務の皆様、その他、多くの皆様の御陰があつてのことだと、深く感謝しております。ほんとうに貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

顎顔面放射線学 西山 秀昌

